

市立赤平総合病院 経営健全化計画完了報告

不良債務全額解消と21年ぶりの経常収支黒字化達成

市

立赤平総合病院（赤平市病院事業会計）が平成19年度に最大29億円あった不良債務（資金不足額）を平成23年度決算において全額解消するとともに21年ぶりとなる

経常収支の黒字化、約1.2億円を計上いたしました。このことにより、平成22年3月に策定した「市立赤平総合病院経営健全化計画」は3年前倒すかたちで完了することとなり、市議会および国、道へ報告を行いました。

平成19年度に成立となった「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」。

当

時、市立病院は、29億円という多額の不良債務を抱え、法律の適用となつた平成20年度決算においても不良債務額14億円、資金不足比率81.2%の決算を計上し、健全化の基準となる20%を大きく上回り、6年間で健全化（20%以下）となる目標を掲げ、「市立赤平総合病院経営健全化計画」を策定いたしました。

■ 計画では主に…

一般病床を120床から60床へ縮小し、また外来部門では看護師のステーション化を図るなど適正な規模と人員配置を見直し、人件費の圧縮を図る。また、過去の不良債務、借金については一般会計において負担することとし、計画的な繰入れを実施することを柱としていました。

■ 結果は…

一般病床60床への縮小及び看護師のステーション化が一年前倒しで完了するなど、人件費の圧縮を中心とする収支の改善は順調に進み、一般会計からの繰入れも毎年、（後年次分を）前倒しで実施し、一年でも早い不良債務の解消を図るべく市一体となって取り組んでまいりました。

経営健全化計画と決算額の比較

（単位：百万円）

	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	決算	決算	計画値	決算	計画値	決算	計画値	決算	計画値	決算
医業収益	1,988	1,725	1,834	1,908	1,828	1,905	1,781	1,840		
入院	1,205	1,022	1,042	1,104	1,048	1,099	1,013	1,063		
外来	615	520	590	591	564	592	566	546		
医業費用	2,487	1,910	2,046	2,017	2,373	2,218	2,081	1,783		
経常収支	△532	△202	△170	△87	△462	△242	△208	120		
純利益	△388	93	109	555	△141	428	117	774		
単年度資金収支	△358	1,549	169	428	△30	345	219	688		
不良債務額	2,949	1,401	1,232	973	1,261	628	1,043	△60		
資金不足比率	148.3%	81.2%	67.1%	51.0%	68.9%	32.9%	58.5%	—		

※経常収支（比率）：企業の日常的な活動から生じる経常収益と経常費用との差額で経営分析上もっとも重要とされる指標です。
 ※不良債務額（資金不足）：流動資産（現預金、未収金、前払い金など）を流動負債（一時借入金を除く、未払い金、前受け金など）が超える部分です。いわゆる「揚げ付き一時借入金」であり、資金不足が生じていることを示し、赤字の判断基準の一つとして用いられています。

これまでの間、院内ボランティアの方々をはじめ、多くの市民の皆様のご協力のもと経営の再建に取り組んでまいりました。今後も経営状況は安定していく見通しとなっていますが、建築後約50年が経過しようとしている病棟の建替え問題をはじめ、安定かつ継続的な医師や医療職の確保など課題は残されておりますので、引続き市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成25年度（4月1日採用）市立赤平総合病院職員（市職員）募集

業種	正看護師 （正職員）	臨床検査技師 （正職員）	理学療法士 （正職員）	看護師 （嘱託職員）	薬剤師・放射線技師 （嘱託職員）
採用人数	5名	1名	1名	若干名	各1名
願書締切日	10月22日（月）	10月26日（金）	10月26日（金）	随時	11月30日（金）
試験日・内容	10月31日（水） 小論文・面接	11月9日（金） 小論文・面接	11月9日（金） 小論文・面接	随時 面接	12月上旬 面接
合格発表	11月9日（金）	11月14日（水）	11月14日（水）	随時	12月中旬
採用年月日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	随時	平成25年4月1日

※応募要領、受験願書及び履歴書など詳しい内容は、市立病院ホームページまたは、担当までお問い合わせください。

問合せ 市立赤平総合病院 管理課 担当：井上 ☎32-3211内線406